



イチケン
長谷川 博之社長

BIM普及へ体制強化

コロナ禍を受けて前期から受注の方向性を物流倉庫や医療・老健施設に切り替えた結果、手持ち工事がかなり増えた。商業施設は売り場構成の変更や建物の省エネ化の需要

ゼネコン

があり、リニューアル工事が増えている。カーボンニュートラルのための熱源の交換など工事も大型化している。当社からも施主にZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）の提案していく。

来期は新しい3カ年の中期経営計画が始まる。ポイントはDXによる働き方改革だ。現場の負担軽減のため、2022年4月にDX推進プロジェクトを提案していく。

から3年間を土台づくりと位置付け、現地スタッフ2人が来日し研修中だ。人材確保の前に、まず離職率を下げたい。新入社員のフォロー体制を拡充する。定年後の再雇用者も適切に評価し、モチベーションを高める。創業100周年となる30年に連結売上高1000億円が目標だ。ベトナムでの事業や新規事業、不動産事業で収益増に取り組み。建設関連分野で新たなM&A（企業合併・買収）も検討する。

■ 日刊建設工業新聞1月31日(火) [1面]



展望2023

不働テトラ
奥田 賢也社長

イチケン
長谷川 博之社長

経営見据え海外事業強化

洋上風力にセントラル方式

近く運用方針策定

国が系統確保やアクセス関与

きょうの紙面

水産庁が「水産加工品」の輸出を促進する方針

民間工事の工期深掘り

生産性向上で工夫

アカギの配管支持金具

建築現場の安全意識喚起

基礎工

建築現場の安全管理

トンネルと地下

建設現場の安全管理

建築現場の安全管理

建築現場の安全管理

建設現場の安全管理

建設現場の安全管理

1